

市民俳句大会入選作品表彰－11月28日(火)

小学生の部で、優秀な成績を収めた児童の俳句を紹介します。

〈弥富市文化協会長賞〉6年 男子 「草光る跳べない蛍もいるのかな」

〈入選〉 6年 男子 「青い海心にひびく波の音」

6年 男子 「角立てて戦うカブトいさましく」



6年 男子

ぼくは、子どもの蛍が飛べなくて、葉っぱにとまって光っている様子を想像して、よみました。まさか選ばれると思っていなかったので、表彰と聞いた時は、びっくりして耳を疑いました。



6年 男子

ぼくは、夏の青い海を想像したときに、ザザーという波の音が聞こえてくるような気がしました。だから、その景色を俳句にしました。

6年 男子

ぼくは、夏の虫であるカブトムシが、戦うところを想像して俳句を作りました。カブトムシといえば、角なので、はじめに「角立てて」という言葉を入れて書き始めました。

人権標語発表－12月4日(月)

12月4日(月)の人権集会で、各学年2名の子どもたちが人権に関する標語を全校児童の前で堂々と発表しました。1年から3年まで紹介します。

1年 男子 「うれしいな みんなのえがおで げんきでる」

女子 「ありがとう うれしくなるね まほうのことば」

2年 女子 「見えないところも 思いやる」

女子 「ひろげよう わたしから やさしい心」

3年 女子 「がんばろう ぜったいやれる みんななら」

女子 「よりそうよ 心かよえば 温かい」



職員室入室金メダル－11月

6年 男子1名 女子2名

*はっきりとした声で、学年、氏名、用件を言って入室できました。